

主な意見とその対応

第 6 回草津市総合計画審議会

(1) 第 5 次草津市総合計画検討資料【現況課題、基本構想(素案)】(資料 2、補足資料 2-1, 2)

主な意見	対応
<ul style="list-style-type: none"> ● 草津のまちなかは、旧草津川の利用の如何にかかっており、市がイニシアチブを取って構想し、位置づけを示すべきである。 ● 旧草津川は、小分けにして利用するのではなく、大空間として利用することに価値がある。 ● 旧草津川の位置づけを、土地利用のゾーンや構想のなかに分散しないように整合を図り、記載して頂きたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2. まちづくりの基本方向の「心地よさ」が感じられるまちへの中で、旧草津川の内容について追記しています。 →「生物多様性をはじめとした……」 特に草津川廃川敷地については、周辺の歴史的な資源も含めた総合的な活用を図ります。」 ■ リーディング・プロジェクトのひとつとして、今後検討していきます。
<ul style="list-style-type: none"> ● 農村環境は、土地持ち農家により維持されてきたが、非農家が増える中で、どう維持するか。ソフト面の取り組みを構想で一步踏み込んでもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 基本計画の中で検討していきます。
<ul style="list-style-type: none"> ● 「まちづくりのあゆみ」に平成 21 年に制定した「男女共同参画条例」を記載願いたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 追記しています。
<ul style="list-style-type: none"> ● 「地域経営」の定義は記載されているとおりであるが、この定義を共通理解とする必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 共通理解が得やすいような表現に努めて修正しています。
<ul style="list-style-type: none"> ● 将来ビジョンは精神的、抽象的印象である。もう少し、具体的なイメージがあってもよいのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 総合計画の性格上、ある程度の抽象性は避けられないが、イメージ図などを検討して、市民が共有できるものを示したい。個別・具体的な内容については、基本計画のなかで整理していきたい。
<ul style="list-style-type: none"> ● 「まちの構造」について、従来に親しまれてきた、文化ゾーン、福祉ゾーンといった名称との整合を図る必要があるのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ゾーン名称については、再整理し、ゾーンの中に内容として、「福祉・医療、文化等」を追記しています。 また、拠点の名称についても、「学術・福祉拠点」として整理しています。
<ul style="list-style-type: none"> ● 「協働」と「パートナーシップ」「バリアフリー」と「ユニバーサルデザイン」同じ意味の言葉であり、どちらかに統一する、使い分けを明確にした方がよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 改めて確認し整理しています。
<ul style="list-style-type: none"> ● バリアフリーは、道だけでなく、情報発信、コミュニケーション等においても取り組みがなされていることについて整理して頂きたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 含んだ内容を想定しており、基本計画のなかで記述していきます。

主な意見	対応
● 「時代の潮流」において、多文化共生の箇所 で「人権文化」について触れているが「人権 文化」という表現は一般的に分かりにくい のではないだろうか。	■ 語注により対応しました。
● 「子育て」という表現は県でも使っている が、一般的ではなく少しわかりにくいので ないだろうか。	■ 「子ども」が「育ち」を得る主体者として あることを示しており、「子ども・子育て」 に修正いたします。
● 男女共同参画という言葉は少しわかりにく のではないだろうか。	■ そのものの術語の問題は認識していま すが、本市では所掌部署名にも用いて いるので、このまま用いたいと考えて います。
● 「人口構造と日本社会」というタイトルは、 内容が一致していない。医療、福祉、介護 の問題が非常に重要な課題であることに 触れるべきでは。	■ タイトルを「人口構造と社会資本」とし、 内容について、ご指摘を踏まえた修正 をしています。
● 「地域経済と都市間連携」は内容を深めて 頂きたい。	■ 内容について、「製造業等は、貿易や 金融などを含めた国際的な政治・経済 の影響を受けて、地域経済を大きく左 右します。」を追記しています。
● 「多文化共生」について、グローバル化に よって、人が仕事や勉強のため、国際的に 国境を越えて移動していく状況が世界的 に進んでいることがローカルな地域にも 大きな影響があるということをし 少し整理されたらどう だろうか。	■ ご指摘を踏まえた修正をしています。
● 「情報技術とコミュニケーション」は、主 要な課題、ビジョンとの関連が不十分 である。これらとの関係性を整理する なかで、時代の潮流の内容を確認して 頂きたい。	■ 「時代の潮流」が「主要な課題」と合 致するものと考えていませんが、潮流 を受けた内容が「主要な課題」の中 にないことについて、「6. 主要な課題」 の「① “出会い”による市民文化の高 まりを」の中に「多様なコミュニケー ションにより」を加えています。また、 「情報活用力とコミュニケーション」 として一部修正をいたしました。
● 人権や男女共同参画、高齢者、障害者 など弱者を弱者として扱ってしまう 行政の枠組みが20年間変わっていない。 そもそも、すべての分野において含 めるべき考え方であろう。	■ ある種のポジティブ・アクションとし て、枠組みの継続が必要な側面もあ り、また、法制度や行政の仕組みと の現実的な整合を図る上で、思い切 った枠組みの変更は難しいと考えて おります。
● にぎわいのゾーンは環境問題を踏まえ、 例えば、モノレールを走らせるなど 思い切ったことをする。もっと勇気 を出して、他のところがやっ ていないことをやっ ていくという 姿勢がみえるとよい。	■ 公共交通の充実については、今後とも 検討を進めていきます。

主な意見	対応
<ul style="list-style-type: none"> ● リーディングプロジェクトは10年間継続してやっていくことになるのか、それとも基本計画期間ごとに調整して差し替えるものなのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ およそ10年先のゴールを見越して、基本計画期間ごとに目安を持ち、着実な進捗を図っていくものとして検討をしています。
<ul style="list-style-type: none"> ● 「環境」が全体的に弱い。 ● まちづくりの基本方向の(3)「心地よさ」が感じられるまちというところに環境先進都市という意味が集約されてくるのだと思うが、この中に環境というフレーズがなく弱い。もう少し戦略的に環境ということを入れ込んでいったほうがいいのではないか。 ● 「まちの構造」において「まちなか環状道路」などに車の動きはあるが、人の動きはない。中心市街地に車を閉め出すゾーンなどを描くべきではないか。 ● うるおいネットワークが人の動きを担保しているのであれば、もっと強調すべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「環境」の強調については、(1)将来に描くまちの姿の中で「・・・文化・教育・環境・経済などあらゆる分野で滋賀県全体を先導する自負と責任を持ちながら」として、「環境」を追記しています。 ■ 実際に車を閉め出すことが適切かという、必ずしもそうではないと考えています。また、設定するにあっても、社会実験などを含めて綿密な調査・計画が必要であると考えております。 ■ うるおいネットワークについて、表現の強調を行っています。
<ul style="list-style-type: none"> ● 「行政の姿勢」において、行政だけでなく、市民、事業者など、計画の推進にかかる主体の役割について明記すべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「まちづくりの基本方向」までは、市民とともに共有するものであり、「行政の姿勢」は、そのために行政が取り組む姿勢と役割を示すものとして、「行政の姿勢と役割」として、内容も一部修正をしています。なお、基本計画においては、各主体の役割についての記載を検討しています。
<ul style="list-style-type: none"> ● 「まちづくりの基本方向」の「人が輝くまちへ」においてスポーツは記載あるが、「文化・芸術」に触れていない。記載いただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「芸術」についての記載について、「(市民文化)」の中で追記しています。
<ul style="list-style-type: none"> ● 県の基本構想において当初、「芸術」がワンフレーズもなかったが、最終的に文化・芸術が息づく魅力的なまちづくりというキャッチフレーズが入った。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「(市民文化)」の中で追記しています。

主な意見	対応
<ul style="list-style-type: none"> ● 草津は環境教育と芸術教育が非常に進んでいる。そういう意味では教育先進都市といってもよい。 ● 草津の教育において、環境と文化、伝統がしっかりと組み込み合っている点が強み。基本構想のキーワードになるといいのではないか。 ● 草津の子どもたちは非常に健全に育っており、まちの人たちはしっかりと守って育てている。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「教育」の強調については、(1)将来に描くまちの姿の中で「・・・文化・教育・環境・経済などあらゆる分野で滋賀県全体を先導する自負と責任を持ちながら」としています。
<ul style="list-style-type: none"> ● 新宮神社が国の重要文化財指定を受けた。重文指定が市内に3社あるなか、既に2社が記載されているので、これも記載した方がよいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 記載内容のバランスを考えるなかで、個別名称の列記を避けるほうがよいと判断し、割愛しました。
<ul style="list-style-type: none"> ● 「人口減少に向かう」「人口増加に向かう」などの表現が統一されていない。どちらを目指したまちづくりをしているのか、整合とって頂きたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全国動向と草津市の動向が異なることで表現に違いが生じていることがわかりやすいよう配慮しました。
<ul style="list-style-type: none"> ● 財政を意識し、優先順位をつけて取り組む必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 基本計画の検討において勘案し、リーディング・プロジェクトの設定と併せた中で、優先順位をつけるかどうか検討していきたいと考えています。
<ul style="list-style-type: none"> ● 草津には、これしかないというものが薄いため、新たにつくることができる。そのような観点の中から中心市街地の活性化、本陣を中心としたまち、これも大事であり、同時に新たな文化づくりというものにも目を向ける必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 基本計画やリーディング・プロジェクトの中で検討していきます。
<ul style="list-style-type: none"> ● 構想の内容は10年間のまちづくりを見据えたもので、野心的なものにするのは難しい。リーディング・プロジェクトにおいて、「草津市にしかできないもの」「野心的な取り組み」を検討して頂きたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 検討していきます。
<ul style="list-style-type: none"> ● リーディング・プロジェクトにおいては、「市民提案型事業」を行うなど「市民力」の活用を検討されたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 検討していきます。